

米2回賃金斗争討論集会 西成市民館で

75名の結集が貫徹

昨日七時西成市民館に於てタオ千単価一
 掃の米2回賃金斗争作戦討論会が
 行われ、その半数は西播斗争に参加した仲間
 達で行われた。討議の内容はまず
 ①西播斗争の総括 ②賃金斗争の取
 り組みの二点であった。

西播斗争の総括

「益の斗争史の中で新たな前進として
 組織的な反撃手が斗われた」の意見
 が出され、全体的には仲間の腹の底
 からの怒りと団結でセンターから決
 起した仲間とタコ部屋に閉じ込められ
 ている仲間の部隊の大団結により

シケハリ暴力ホーシシ共を打ち倒し
 親父を孤立させ、タコ部屋
 を粉砕する新たな斗争の勝利の
 地平を切り開いた。又その後には
 賃金斗争の取り込みについては仲間から

うらへつづく

益崎解放
 1980年4月16日
 益崎労働組合

次から次にケタオ千単価労働諸条件の具体的報告が上がった。
川崎製鉄加古川工場に前川土木(姫路)から手配工れたが

晩七時(朝の七時)迄の夜勤にもかかわらず単価は七五の四

しかくれなかつた。これは深夜賃金、深夜残業割増賃金

労働基準の基準から見れば許しがたいケタオ千単価である。

又石油公署廃棄物、不法投棄の反社会的なタンカー仕事を

に動員工れたとの我々日雇労働者の仕事の社会的役割を

考へなおすやまこと中問題提起工れた。それからセンター

の住宅付近で名古屋方面の手配師によって酒に酔つてねて

いる所をつれていかれそうになつた等...。そして、次の事

★任員金の要求を七千八百円とする

★六千五百円以下の千タオ千単価を

センターから撲滅しよあ

★六千五百円以下のケタオ千人夫出し業者(

の現場調査、現場斗争に着手

調査と斗争の成果を金日労働会所

に集中しよあ

次回の会議は今回金曜夜に市民
館へ結集しよあ

賃 金 票

日付		1980年		月		日()	
時間		拘束		定時			
業者名 (場所)				センターある。なし 登録() 規模()名			
元請							
下請							
産別				場所			
工事名							
職種				人員		名	
単価				残業			
食事		朝 昼		現物支給なし(現金)			
印紙 あり。なし				健保 あり。なし			
現金支払方法							
備考							